

みどりの食料システム戦略推進交付金のうち
SDGs対応型施設園芸確立

【令和6年度予算概算決定額 650（696）百万円の内数】
（令和5年度補正予算額 2,706百万円の内数）

＜対策のポイント＞

みどりの食料システム戦略の実現に向けて、環境負荷低減の技術を活用した持続可能な施設園芸への転換を促進するため、SDGsに対応し、環境負荷低減と収益性向上を両立したモデル産地を育成する取組を支援します。

＜政策目標＞

化石燃料を使用しない園芸施設への移行（加温面積に占めるハイブリッド型園芸施設等の割合50%〔令和12年まで〕、化石燃料を使用しない施設への完全移行〔令和32年まで〕）

＜事業の内容＞

1. SDGs対応型産地づくりに向けた検討会の開催

実証機器の選定及び検討会の開催を支援します。

2. SDGs対応型産地づくりに向けた実証・普及の取組

- ① 化石燃料使用量削減等に資する新技術による栽培実証
- ② 省エネ機器設備・資材・自家消費発電システムによる効果的な加温体系実証
- ③ 環境影響評価の実施
- ④ 知見や技術等を広く普及するためのマニュアル作成や情報発信
に対して支援します。

※以下の場合に優先的に採択します

- ・みどりの食料システム法に基づく特定区域において取組を行う場合
- ・事業実施主体の構成員（農業者、民間団体等）が「みどり認定」等を受けている場合

＜事業イメージ＞

1. SDGs対応型産地づくりに向けた検討会の開催



協議会を設立
モデル産地育成のために連携し、省エネ技術やカーボנקレジットの活用を検討

2. SDGs対応型産地づくりに向けた実証・普及の取組

モデル産地の育成

①新技術実証



工場等の廃熱利用技術（蓄熱コンテナ）、
廃油ボイラーの活用等
※実証に使用するハウス等のリース・レンタルも可



② 省エネ機器設備等の導入実証



木質バイオマスボイラー、ヒートポンプ、太陽光パネル等
※実証に使用するハウス等のリース・レンタルも可

③ 環境影響評価の実施



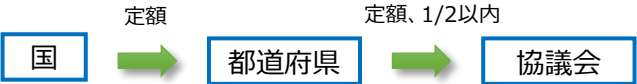
化石燃料使用量削減等の
環境負荷低減の効果

④マニュアル作成・情報発信



実証等により得られた知見や技術
を広く普及啓発させるための
マニュアル等を作成・公表

＜事業の流れ＞



環境負荷低減の技術を活用した、持続可能な施設園芸への転換を促進

【お問い合わせ先】 農産局園芸作物課（03-3593-6496）8